

施策評価調書

施策名	5-2-5	計画的な社会教育施設の維持		施策を取り巻く環境変化	社会教育施設は、安全性の確保が重要でありますから、耐久性に支障をきたした施設・設備に対し、延命のための改修を施工して、住民が安心して使える施設の整備をする必要があります。その効果は住民の生涯学習拠点である施設の教育環境の質的整備(ルール改正による競技場ラインの改訂・ニューススポーツ用ラインの新設・水銀灯の点灯時間を解消する新型器具への更新・音楽部門の使用に伴う会議室内壁の遮音構造化・ナイター設備の照度低下の改良等)を図れ、町生涯学習の推進及び町スポーツ計画の目標達成に寄与しなければならない。また、町民が自発的な意思により、自己の充実、啓蒙や生活の向上のため、適切かつ豊かな学習の機会を利用し、自分に適した手段、方法を選択し、一生涯の学習を行うため、その実現に向けた町の支援策として、利活用できるインターネット等を媒介とした情報の検索、施設の予約等の環境を整備することにより、「いつでも」「どこでも」「だれでも」学習に取り組める施策を展開しなければならない。
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ	P. 71		
担当部課	教育部 生涯学習課	担当	施設管理担当		
		リーダー	野中 厚		

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	第17位/全36項目(社会教育・生涯学習環境の充実) 3.7%	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	第18位/全36項目(社会教育・生涯学習環境の充実) 53.3%	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの

優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
(施設予約システムの利用促進、施設整備)							
指標1:施設予約システムの年間アクセス件数:(件)	22年度実績 25,000件	計 画	26,000件	27,000件	28,000件	29,000件	30,000件
指標2:社会教育施設の維持改修箇所数:(箇所)	9箇所	計 画	1箇所(トレセン)	1箇所(町民ホール)	2箇所(改善センター・弓道場)	4箇所(トレセン・仁井田体育館・タウンセンター・石末運動場)	1箇所(図書館中央館)
指標3:		計 画					
指標4:		計 画					
指標5:		計 画					
指標に関する特記事項	○施設予約システムのアクセス件数は、利用件数が近年増加傾向にあります。平成23年度から旧ギンピール体育館の住民開放が定着しますので、体育施設に関する施設予約システムの年間アクセス件数は、確実に増加することになります。さらに、トレーニングセンター、町民ホール及び農村環境改善センターの大規模改修工事を進めることによって、住民の施設使用意欲を向上させ、これらの施設の予約システムのアクセス件数は、増加することが十分期待できます。						

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当初	37,420	42,798	40,368	44,008
	決算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

後期計画における施策展開のビジョン		H24年度の狙い	
自己評価(部)	H22 事後評価	図書館の運営は、平成22年度から指定管理者制度を導入しましたが、導入した施設の使用状況(人数/対前年比)に関して、公民館は1,623人増(7.81%増)、仁井田コミュニティセンターは1,692人増(97.97%増)、仁井田体育館は370人増(3.82%増)とすべて増加し、指定管理者により施設が使い易くなったと思われます。 施設の予約申込みに関しては、システムのPRや利用を促していることから増加傾向にありますが、講座等の申込みに関しては利用が少ないことから、PR方法や使い易さ等について研究及び検討を進めなければならない。	施設の改修により、安全性の確保、利便性の向上を図ることによって、町民の利用向上に資するとともに、町民の生涯学習を支援することができます。さらに、住民の生涯学習拠点である施設に関する教育環境の質的整備(ルール改正による競技場ラインの改訂・ニューススポーツ用ラインの新設・水銀灯の点灯時間を解消する新型器具への更新・音楽部門の使用に伴う会議室内壁の遮音構造化・ナイター設備の照度低下の改良等)を進めて、町生涯学習の推進及び町スポーツ計画の目標達成を図らなければならない。 施設予約システムは、パソコンや携帯電話でインターネットが使える環境があればいつでもだれでも利用できることから、利便性の高いものです。町民の学びを支援するツールとして効果的かつ効率的なものになるようさらに改善を進めます。
	H24 事前評価	社会教育施設は、安全性に課題を抱えている設備及び老朽化した施設に対し、改良工事を計画的に施工して、住民が安心して使える安全な社会教育環境の整備を図ります。その結果、安全性の確保及び長期間の活用を実現するとともに、質的改造を計画的に施工して、長期的な使用に耐えられ住民が安心して使える社会教育施設を整備します。	
総合評価(町長)	総合評価	施策傘下事務事業に係る個別指摘事項	
	計画に沿って施策展開されていると評価するが、財源確保(事業費・人件費ともに)のため、今後においては、所管部署としても、計画執行と財源確保のバランスを十分に検討されたい。 また、将来的な需要に対する今後の施設の利活用方法についても、所管部署としての考え方を、中長期的な課題として議論されたい。	・「町民ホール外壁改修事業費」については、必要な事業と評価するが、財源確保のため先送りすべきと判断し、「条件付継続事業」とする。 また中長期的な課題として、施設の今後の利活用方法(フルスペックで更新し、市場性の高い事業に振り向けていくのか、必要最低限の更新をし、地域性の高い事業に振り向けていくのか等)について、所管としての考えを検討されたい。そして、その検討結果を、今後発生する設備類の修繕計画に反映されたい。 ・「社会教育施設修繕・改修事業費」については、総枠を予算査定において精査するという意味合いで、「条件付継続事業」とする。 ・その他の施策傘下事務事業については、全て「継続事業」とする。	